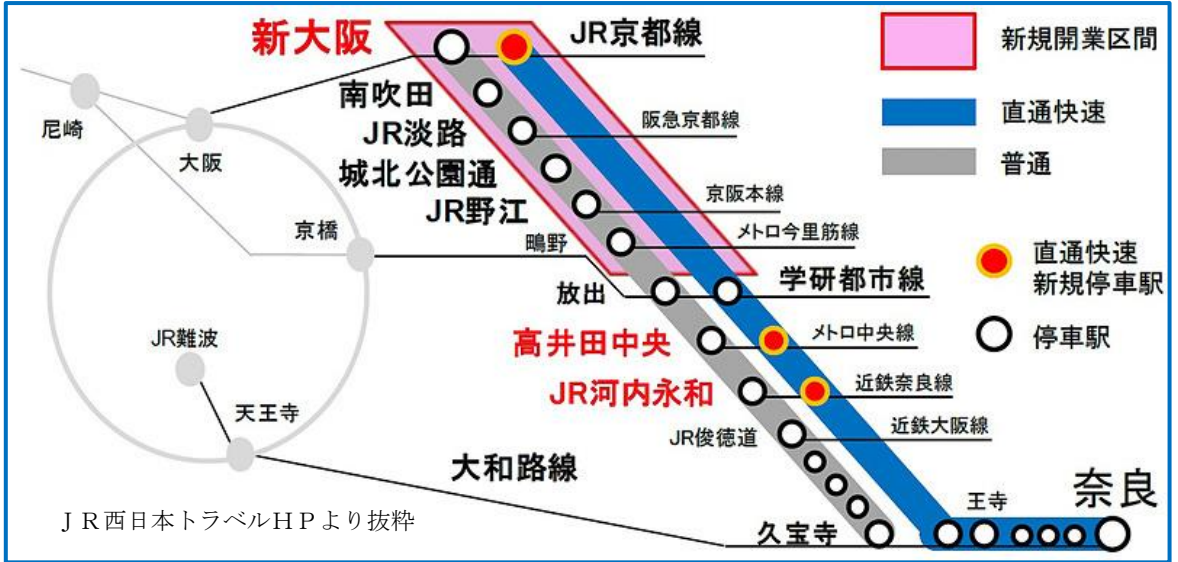


Contents *おおさか東線開通 *仕掛学 *コラム



夢のある路線 おおさか東線が開通します！

いよいよ2019年3月16日土曜日、「おおさか東線」の全線が開通します。

「夢のある路線」と呼ばれている新線ですが、なぜそう呼ばれるのか？取材調査してきました。

一般的に、新駅の誕生には、その沿線の乗客の増加に大きく寄与し、街に新しい人の流れを生む効果があるとされています。

また、新駅の周辺では、利便性の高い住宅開発が進み、その定住者の増加により商業施設の充実も図られる傾向にあります。よって、新駅の誕生する街は、高い経済効果が期待できると言われています。

鉄道会社としても、新駅による乗客数の増加を見込みます。JR西日本が発表しているJR神戸線&JR京都線での新駅開業と乗客数の変化をみると乗客数増加の効果がよくわかります。

*さくら夙川駅

↓2007年3月開業…154%

*須磨海浜公園駅

↓2008年3月開業…140%

*島本駅

↓2008年3月開業…155%

*桂川駅

↓2008年10月開業…202%

※いずれも、開業翌年の1年間と2014年の年間乗客数を比較した数値

今回開通する「おおさか東線」は、上の路線図にあるように、JR京都線（東海道本線）の新大阪駅から、JR学研都市線（片町）放出駅を経由して、JR大和路線（関西本線）久宝寺駅に至る20.3キロにわたる区間のことを指します。この新線が開通することで4つの新駅が生まれます。

「おおさか東線」の開通は、大きく2つの効果が期待されています。

①新大阪・奈良のアクセス向上効果

現状では、奈良から新大阪へは、天王寺駅からJR環状線、地下鉄御堂筋線に乗り換える必要があります。

しかし開通後は、乗り換え不要となるだけでなく、直通快速の運転により所要時間が短縮されます。大阪市内を経由する必要もなくなることから、市内の混雑緩和も期待されています。